

事業者向け

放課後等デイサービス評価表

公表：2023年3月30日

事業所名：ブティ倶楽部 大宮

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人あたり4㎡以上のスペースは確保出来ており基準は満たしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			現状は、児童2人に対し1人の職員を配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	玄関や室内にも大きな段差がありますが、留意し対応しています。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		朝礼や毎月の会議で振り返りを行っています。朝礼に参加できない非常勤職員へは、ノートに内容を記載し共有できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの評価表を会議等の場で共有し、業務改善に繋げています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現状は第三者による外部評価は行っていませんが今後必要性に応じて検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月、法定研修を行い、外部のオンライン研修や動画での講習も受講しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様と面談を行った内容を、朝礼などで職員に共有し、意見を出し合い計画に反映させています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用児童全員に、同一のアセスメントシートの記入をしています。標準化されたアセスメントツールの導入を検討しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムを決める会議を毎月設け、スタッフの意見を出し合って決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事を盛り込み、長期休みには様々な体験を積めるよう工夫しています。活動内容は履歴として残しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇等に合わせてスケジュールを組んでいます。それぞれのプログラムに対し活動のねらいを持ち取り組んでいます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の特性や達成可能な項目を考え、計画には個別での活動や集団活動組等を盛りこんでいます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎朝のミーティングで支援内容、目的、1日の流れ、担当を決め役割分担を決めています。内容をノートに記入し、全職員に共有できるようにしています。午後から来るパート職員に行き渡っていない事も見られる際はノートの確認を促す他、口頭でも伝えていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			共有などが必要な際はその日のうちに振り返りを行っています。また翌朝のミーティングでも振り返りをおこなっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動内容、支援については毎日記録をとり、次の支援や計画に反映させています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画の更新時にはモニタリングを行い、計画の見直しについて職員間で話し合いをしています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの内容を組み合わせ様々な活動内容を盛り込んでいます。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			新型コロナの影響もあり参加の機会が少ないですが、必要に応じて児童発達支援管理責任や管理者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年度の初めは学校に挨拶をしたり、必要に応じて学校との連携も行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在対象となる児童がいない為、連絡体制は整えておりません。必要に応じて整えていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		すべての児童に対応出来ていない為、保護者様と連携し情報共有を進めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		令和5年3月で放課後等デイサービス終了する対象児童があり、必要に応じて障害福祉サービス事業所等へ情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		区で行っている研修などで各専門機関との話し合いなどには積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	積極的な関わりはありませんが、公園や公共の場などで接する事はあります。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	実施がなく参加していません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に日々の様子をお伝えしています。気になる行動があった際には、保護者様に報告・相談をするよう心がけ、共通理解に努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		日々の申し送りや面談のなかで相談、助言等を行っていますようにしています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に保護者様に対して支援の内容や負担等について、丁寧に説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談や、保護者様よりご相談があった際は、悩みに寄り添いながら対応しています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		令和5年2月に保護者会を開催しました。次回6月、10月と開催を予定しています。保護者会では、保護者同士の交流も目的としています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情の担当窓口などを決め体制を整えています。ご意見頂いた際に、すぐにご対応できず時間が掛かってしまった事がありました。今後の改善に活かしてまいります。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、お便りを発行しSNSでの情報発信やシステムでのブログ発信を携帯で閲覧できるようにしています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			入退社時、また毎年、個人情報の研修を行っています。日頃から十分に注意するよう声掛けしています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉だけではなく、ジェスチャーや写真カードを用いて、コミュニケーションを図っています。保護者とは、送迎時や必要時に連絡を取り合い、システムの連絡帳で意思の疎通を取るよう心がけています。
㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナ感染予防の観点から行っておりません。徐々に規制緩和され始めたので、地域住民との交流を図って行きたいと思っています。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所では各種マニュアルを閲覧できるようにしています。保護者様へはマニュアルを用いた研修をシステムにてお知らせしたり、お便りに掲載しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			公共の防災センターに訪問や、実際の避難場所に行くなどして年2回、子供達と避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待の研修を行っています。ミーティングで支援の振り返りが適切であったか、再度振り返りを小まめに行っています。他、年に一度、虐待防止委員会・身体拘束適性化検討委員会を開催し、各事業所の具体的な事例を共有し合い、防止策や改善方法を検討しております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束の研修も行っております。法人として、身体拘束に関する指針を作成し事務所に掲示しています。また、身体拘束を行うことは想定していない為、計画書に記載はしていませんが、今後必要な状況になった場合に適宜対応していきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		契約時や面談の際に、保護者様にアレルギーの有無を確認しています。現在、医師の指示書が必要である児童はおりません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月の会議や朝礼などのミーティングで、ヒヤリハットの振り返りをしています。事故に繋がらないよう共有したり改善策を立てています。